

企業課題の解決に スポーツを活用する8つの方法

最新事例セミナー

セミナー内容

～企業課題の解決にスポーツを活用する8つの方法～

企業が抱える悩みや課題を「スポーツ」で解決する事例が増えてきています。人材の採用や定着に関する課題、企業風土に関する課題、顧客関係性に関する課題など、企業が抱える代表的な8つの課題にスポーツを活用する方法をお伝えいたします。

参加
対象者

お得意先顧客、お取引先との関係構築の方法に頭を悩ませているご担当者様
社員のモチベーションアップに課題を抱えているご担当者様

※営業企画部、営業推進部、経営企画部、新規事業開発部、マーケティング部、人財育成・人事部など

定員

50名

費用

無料
事前登録制

日時

2018年6月8日（金）15:00～17:00

場所

フクラシア丸の内オアゾ I会議室
JR東京駅または地下鉄大手町駅直結

セミナーの詳細及びお申し込みは[こちら](#)

株式会社JTB東京中央支店 営業推進課 担当 鈴木朋光

☎03-6737-9418 e-mail:t_suzuki032@jtb.com

会社名、部署名、お役職、氏名、ご連絡先（電話、メールアドレス）をご記載いただき、お申し込みください。
セミナー当日は受付で会社名、氏名をお申し出ください。また名刺を2枚お預かりいたします。

セミナー主催 株式会社JTB

セミナー協力 株式会社スポーツマーケティングラボラトリー

プログラム

講演内容

企業課題の解決にスポーツを活用する8つの方法

企業が抱える悩みや課題をスポーツで解決する事例が増えてきています。本セミナーでは「帆との採用がうまくいかない」、「せっかく採用した人がうまく定着しない」、「組織風土が硬直化しノベーションが起きにくい」、「研究開発部門が時代の変化についていけない」、「顧客と距離が遠い」、「自社のブランドの価値を高められない」、「営業部門が商談で競合に負けることが多い」、「新規事業づくりに失敗している」といった8つの悩みを、スポーツを活用して解決しようとしている事例と、そのポイントをお伝えします。



講師：石井宏司
株式会社スポーツマーケティングラボラトリー
執行役員
東京大学教育学部卒業、東京大学大学院
卒業（教育学修士）
株式会社リクルート、野村総合研究所にてコンサルティング業を経て、2014年頃よりスポーツを中心とした都市再生や新成長産業としてスポーツ産業の成長支援に携わるようになる。

ステークホルダーとの関係構築に スポーツホスピタリティ™の先進事例とRWC2019ホスピタリティパッケージについて

ホスピタリティプログラムとは、スタジアムを訪れる観戦者に対して、専用個室や特別な空間での飲食、エンターテインメント、ギフト等の特別かつ上質なサービスを観戦チケットと組み合わせて提供するインセンティブプログラムの一種を言います。JTBは、ラグビーワールドカップ2019™の日本開催を契機に、スポーツ大会における新たな観戦スタイルの確立、スポーツビジネス市場の更なる拡大、そして開催都市や地域の活性化に寄与するため、Sports Travel & Hospitality Ltd. (STH) と共に日本初の『スポーツホスピタリティ™』を取り扱う専門会社である「STH JAPAN」を設立し、日本のスポーツホスピタリティビジネスをリードします。

※株式会社JTBはラグビーワールドカップ2019™の日本における公式旅行代理店です。

※スポーツホスピタリティ™は株式会社JTBの商標登録です。

※会社JTBはラグビー日本代表のオフィシャルメーカーです。



講師：遠藤 正幸
株式会社JTB
企画開発プロデュースセンター
チーフマネージャー

日時

2018年6月8日（金）15:00～17:00

会場アクセス

会場名 フクラシア丸の内オアゾ I会議室

住所 〒100-0005
東京都千代田区丸の内1-6-5
丸の内北口ビルディング15階（総合受付）

アクセス JR東京駅 丸の内北口徒歩2分
東京メトロ大手町駅または東京駅直結

＜フクラシア丸の内オアゾアクセスMAP＞



フクラシア丸の内オアゾ
丸の内北口ビルディング 15階（総合受付）・16階